



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社AVILEN 上場取引所 東
コード番号 5591 URL <https://avilen.jp/ir/>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）高橋 光太郎
問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）高田 拓明 TEL 03 (5823) 4694
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	409	—	119	—	108	—	72	—
2024年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年12月期第1四半期 72百万円（－％） 2024年12月期第1四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	11.94	11.68
2024年12月期第1四半期	—	—

（注）2024年12月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	1,246	625	50.1
2024年12月期	1,233	552	44.8

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 624百万円 2024年12月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,614	30.0	250	32.0	234	24.2	152	31.4	24.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	6, 107, 493株	2024年12月期	6, 107, 493株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	6, 107, 493株	2024年12月期 1 Q	6, 050, 067株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前第4四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

（1）当四半期の経営成績の概況

当社グループは「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」をパーパスに掲げ、「企業と人がAIを自在に使いこなし、発展し続ける豊かな未来」の実現に向けて、「AIを搭載したソフトウェアの開発」と「デジタル組織の構築を支援するプログラムの提供」を主軸に、企業のAI活用/DX推進による成長を支援してきました。その中で、特に既存取引先のLTV最大化、AIソリューションの新パッケージ開発及びM&Aやアライアンスに向けた取り組みにより一層注力し、非連続成長の実現のための施策を進めております。

AIソフトウェアユニットでは、AI・データサイエンスの観点でデータの利活用により、顧客企業の業務効率化等の新たな価値を創造するソリューションを提供しています。高速かつ高精度なボイスボットの展開や業務プロセスの完全自動化を目指す帳票処理AIエージェント「帳ラク」等の最先端の生成AIソリューションの開発をはじめ、生成AI関連の開発プロジェクトやChatGPTを組み合わせた自社SaaSプロダクトである「ChatMee」等、生成AIビジネスへの展開に注力しております。

ビルドアップユニットでは、AI/DXに関わる組織及び人材の現状評価から必要人材（ビジネス領域及びエンジニア領域）の育成まで、AIの実装を実現するための組織開発に必要なパッケージ化されたサービスを一貫通貫で提供しております。また、新たに生成AI関連コンテンツをリリースするなどサービス範囲の拡充を進めております。

AI業界を取り巻く事業環境については、生成AIの登場でAIの利活用が急速に実用化へ近づいている状況であり、日本における生成AI需要は2024－2028年の間に1,016億円から8,028億円まで拡大する予測（出典：IDC Japan株式会社「IDC Worldwide AI and Generative AI Spending Guide」（2024年8月発行）」）がされております。この環境下において、AIソフトウェアの需要拡大に伴い、特にAI人材の需給ギャップが広がり、真に価値のある生成AI活用のニーズが顕在化する見通しとなっております。

良好な事業環境のもと、組織開発からAIアルゴリズム開発まで完結したソリューションを提供できる当社独自の一貫通貫モデルに加え、株式会社大塚商会等の資本業務提携先との連携を深化させながら、AIソフトウェア及びビルドアップ共に顧客基盤の拡充、継続性の高いプロジェクトを着実に積み上げております。また、DS-Hubの活用等により今後の成長に向けて優秀な人材の採用も順調に進んでおります。加えて、生成AI領域に特化したエンジニア集団である株式会社LangCoreの連結子会社化により、前連結会計年度の第4四半期から連結決算を開始し、当連結会計年度において通期業績の連結取りこみとなります。また、同社の強みである生成AIプロダクトを活かし、大型プロジェクトの受注につながる等、シナジーが早期に創出されており、両社の短期的な収益向上のみならず、中長期的な事業拡大が見込まれる状況にあります。

当第1四半期連結累計期間においては、AIソフトウェアユニット及びビルドアップユニットにおける顧客数・プロジェクト数は堅調に推移し、売上高409,087千円、営業利益119,907千円、経常利益108,114千円、親会社株主に帰属する四半期純利益72,894千円となりました。なお、当社グループはAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、販売実績を主な内訳に区分した売上高は、AIソフトウェアユニットは283,432千円、ビルドアップユニットは125,655千円となっております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は833,457千円となり、前連結会計年度末に比べ28,743千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が80,649千円減少したものの、売掛金及び契約資産が90,097千円増加したことによるものであります。

固定資産は413,203千円となり、前連結会計年度末に比べ15,579千円減少いたしました。これは主に、株式会社LangCoreの株式取得により発生したのれんが償却により12,692千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,246,661千円となり、前連結会計年度末に比べ13,163千円増加いたしました。

（負債）

流動負債は305,297千円となり、前連結会計年度末に比べ368,356千円減少いたしました。これは主に、金融機関からの借入金の借換による短期借入金が400,000千円減少したことと当該借換による1年内返済予定の長期借入金が84,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は315,875千円となり、前連結会計年度末に比べ308,625千円増加いたしました。これは、金融機関からの借入金の借換による長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は621,172千円となり、前連結会計年度末に比べ59,731千円減少いたしました。

（純資産）

純資産は625,489千円となり、前連結会計年度末に比べ72,894千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の動向や業績の進捗を注視し、業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,333	485,683
売掛金及び契約資産	207,170	297,268
その他	31,211	50,506
流動資産合計	804,714	833,457
固定資産		
有形固定資産	5,467	5,126
無形固定資産		
のれん	342,691	329,999
著作権	4,535	4,535
ソフトウェア	43,255	40,709
無形固定資産合計	390,482	375,244
投資その他の資産	32,833	32,833
固定資産合計	428,783	413,203
資産合計	1,233,498	1,246,661
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,403	14,498
未払金	13,675	33,908
未払費用	45,171	39,650
契約負債	77,122	54,404
短期借入金	400,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,500	85,500
未払法人税等	58,804	35,186
賞与引当金	4,347	—
その他	59,629	42,148
流動負債合計	673,653	305,297
固定負債		
長期借入金	7,250	315,875
固定負債合計	7,250	315,875
負債合計	680,903	621,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,609	62,609
資本剰余金	59,609	59,609
利益剰余金	429,802	502,696
株主資本合計	552,022	624,916
新株予約権	573	573
純資産合計	552,595	625,489
負債純資産合計	1,233,498	1,246,661

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
売上高	409,087
売上原価	111,679
売上総利益	297,407
販売費及び一般管理費	177,500
営業利益	119,907
営業外収益	
受取利息	232
その他	60
営業外収益合計	293
営業外費用	
支払利息	1,622
支払手数料	10,275
為替差損	189
営業外費用合計	12,086
経常利益	108,114
税金等調整前四半期純利益	108,114
法人税等	35,219
四半期純利益	72,894
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,894

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
四半期純利益	72,894
四半期包括利益	72,894
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	72,894

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間
（自 2025年1月1日
至 2025年3月31日）

減価償却費

2,887千円